



2019

春

新しい学校、クラスには慣れましたか？

わくわくしたり、緊張したり気持ちがなかなか落ち着かない人もいるかと思いますが。ちょっとした時間にパラパラ本をめくってリラックスしませんか？

普段何気なく使っている言葉。その言葉に勇気づけられたり、笑ったり、時には傷ついたり…。そんな身近にある『言葉』をテーマに本を集めました！



101人が選ぶ「とっておきの言葉」

河出書房新社／編 河出書房新社

様々な職業の人たちが、力がわいたり、自由に生きたり、気持ちを切り替えたりする言葉を紹介しています。自分では思いもよらない言葉に勇気が出たり楽になったりするかも？

①でみる ことばのずかん

おかべたかし／文 やまでたかし／写真 東京書籍

カレイとヒラメ、どっちがどっち？夏の字のなりたちって？林と森の違いってなんだっけ？知ってる言葉でも、読んでみるとそうだったんだ！って思うことがたくさんあると思います！



IMAGINE イマジン 〈想像〉

ジョン・レノン／詩 ジャン・ジュリアン／絵 岩崎夏海／訳 岩崎書店



ジョン・レノンのイマジンという曲の歌詞を絵本にしたものです。いまさら絵本？と思うかもしれませんが、歌詞を音楽とともにきくのではなく、絵とともに読んでみると新たな発見があるかも？



どろぼうの神さま

コルネーリア・フンケ／著 細井直子／訳 WAVE 出版

水の都ヴェネチアが舞台。大人と暮らすのを拒んだ5人の子もたちと彼らを束ねる謎の人物「どろぼうの神さま」。彼らは降りかかる様々な問題をどう切り抜けるのか。ある日、不思議な依頼が舞い込む。そこから彼らの抱える事情が複雑にからみあっていき…

虎と月

柳 広司／作 理論社



父は虎になった。そう聞かされて育った主人公。成長するにつれ、なぜなのか、本当なのかと疑問を抱き始める。もし本当だとしたら、息子である自分も虎になってしまうのではと考え始め、ついに父を探す旅に出る。本当に虎になったのか、その答えは・・・

獣

太宰治・宮沢賢治ほか／作 汐文社



『虎と月』は中島敦の『山月記』を読んで生まれた物語。この本の中に『山月記』が入っています。こちらを読んでみては？注釈と解説が詳しく載っているので、読みやすいですよ！

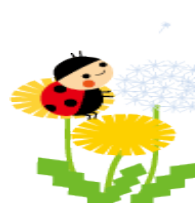
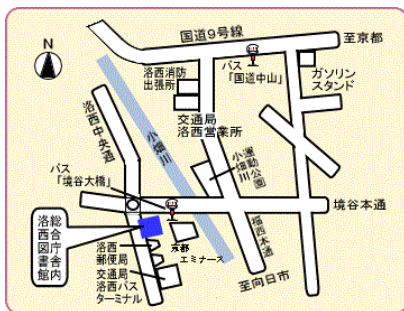


京都市洛西図書館

〒610-1143

京都市西京区大原野東境谷町2丁目1-2 洛西総合庁舎1階

電話 (075)333-0577 FAX(075)333-0887

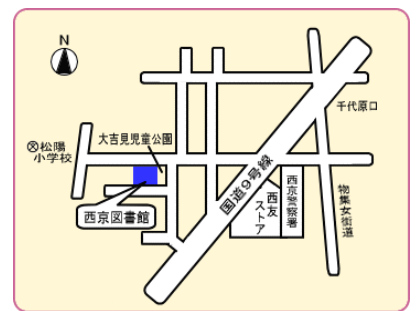


京都市西京図書館

〒615-8236

京都市西京区山田大吉見町20-3

電話(075)392-5558 FAX(075)381-8901



■開館時間 平日 : 午前9時30分～午後7時30分
土曜・日曜・祝日: 午前9時30分～午後5時
■休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の時はその翌平日)
年末・年始

■開館時間 平日 : 午前9時30分～午後7時30分
土曜・日曜・祝日: 午前9時30分～午後5時
■休館日 毎週火曜日(火曜日が祝日の時はその翌平日)
年末・年始